

水稻情報

(第3号)

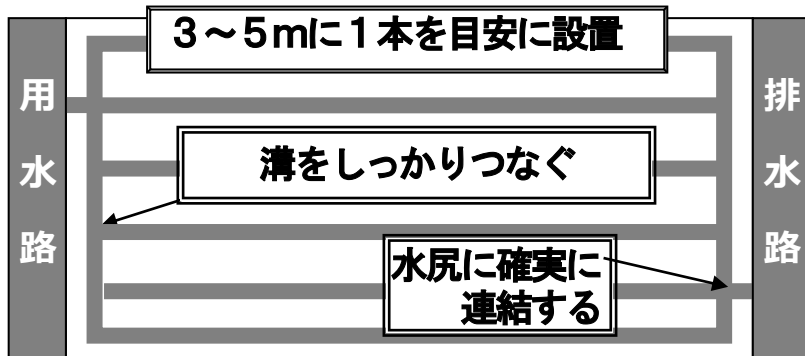
令和7年5月28日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

「あおば米」の品質向上のため、「充実した太い茎」と「元気な根」を育てよう！

- ①中干しを効果的に行うため、「溝掘り」を確実に実施しましょう。
- ②田植後4週間までに「中干し」を開始し、下に伸びる根を増やしましょう。

1. 溝掘り ～6月上旬までに溝掘りを行い、中干しの準備を！～

- ・田植後3週間を目安に入水を止め、2～3日軽く干して泥を落ち着かせて溝を掘る。
- ・溝は3～5m（10～15条）に1本を目安に設置し、水の抜けにくいほ場は、設置本数を増やす。
- ・タテ溝とヨコ溝を確実に連結し、水の流れ道を作って水口や水尻につなげる。



6月1日～10日
あおば農協管内
一斉溝掘り！

2. 中干し ～田植後4週間までに中干しを始め、確実に田面を固める～

- ・6月に入ると急激に分げつが増加するため、田植後4週間までに遅れず中干しを開始する。
- ・出穂期から20日間の湛水管理に備え、確実に田面を固める。

① 中干し開始時期の目安

田植日	中干し開始時期
5月10日	6月7日までに開始
5月15日	6月12日までに開始
5月20日	6月17日までに開始
5月25日	6月22日までに開始

中干しの効果

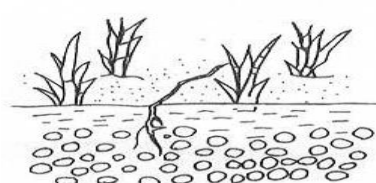
- ①無効分げつの抑制
- ②土中への酸素供給
- ③根の健全化
- ④地耐力の向上



中干しありは根の量が多い

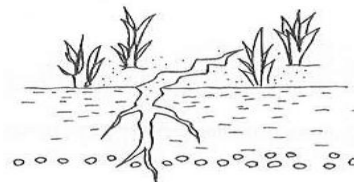
② 中干しの程度

- ・水はけの良いほ場
→長靴が沈まない程度に干す
期間は3～5日間程度



田面に
小さな亀裂
が入るまで

- ・水はけの悪いほ場や粘土質のほ場
→やや強めの中干し
期間は7日間程度



田面に
大きな亀裂
が入るまで

1～2回に分けて干し上げる

中干し終了後は
「間断かん水」
で落水と湛水を
交互に繰り返し、
地固めをする。

3. 中間追肥 ～割粃防止と登熟向上のため、積極的な施用を！～

- ・夏の高温に備えて、間断かん水の入水時にケイ酸やカリを施用する。

肥料名	施用時期	施用量
PKけい酸 (基肥一発体系のおすすめ)	6月中旬 ～下旬	20kg/10a
エスアイ加里らくだ		15kg/10a
※エスアイ加里カリ投げくん		4kg/10a (200g×20個)

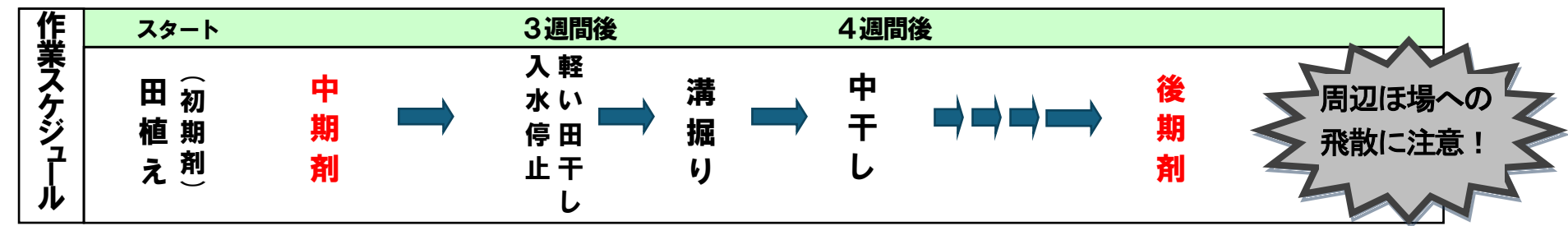
ケイ酸の効果

- ①茎葉・根の健全化
- ②受光態勢の向上
- ③蒸散を適正に維持
- ④割粃の抑制

※パック肥料(手まきタイプなので動力散布機不要)
・施用の際は、5cm以上湛水にしてからほ場に投げ込みましょう。

4. 除草剤の散布

～使用方法を確認し、適期に散布！～



○中期除草剤(「初期除草剤＋中期除草剤」体系の場合)

除草剤名	雑草の種類	使用時期	10a 当たり散布量	使用上の注意点
レブラス 1キロ粒剤	ノビエ 広葉雑草	移植後14日～ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	1kg	・湛水状態で散布
レブラス ジャンボ	ノビエ 広葉雑草	移植後14日～ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	400g (40g×10個)	・5cm以上の湛水状態で散布
ブイゴールSM 1キロ粒剤	ノビエ 広葉雑草	移植後15日～ノビエ3.5葉期まで (収穫60日前まで)	1kg	・湛水状態で散布 ・15℃以下または30℃以上になると予想される場合は使用しない

○雑草が多く残った場合(後期除草剤)

除草剤名	雑草の種類	使用時期	10a 当たり散布量	使用上の注意点
トドメMF 1キロ粒剤	ノビエ	移植後14日～ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	1kg	・湛水状態で散布
トドメMF 乳剤	ノビエ	移植後14日～ノビエ7葉期まで (収穫50日前まで)	200ml (希釈水量 100L)	・湛水または落水状態で散布
ヒエクリーン 豆つぶ250	ノビエ	移植後15日～ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	250g	・湛水状態で散布
トドメバス MF液剤	ノビエ 広葉雑草	移植後15日～ノビエ6葉期まで (収穫50日前まで)	1,000ml (希釈水量 100L)	・晴天日を選び、落水又はごく浅水(雑草が露出する程度)で散布し、3～4日間は入水・落水をしない
ウィードコア 1キロ粒剤	ノビエ 広葉雑草	移植後7日～ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	1kg	・湛水状態で散布
バサグラン 粒剤	広葉雑草 (ホタルイ、オモダカ等)	移植後15日～収穫45日前まで	3～4kg	・晴天日を選び落水又はごく浅水(雑草が露出する程度)で散布し、3～4日間は入水・落水をしない
ロイヤント 乳剤	ノビエ 広葉雑草	移植後20日～ノビエ5葉期まで (収穫45日前まで)	200ml (希釈水量 100L)	・ごく浅水または落水状態で散布 ・ホタルイには効果が劣る
ノミニー 液剤	クサネム イボクサ	移植後30日～クサネム草丈40cm、イボクサ茎長30cmまで (収穫60日前まで)	50～100ml (希釈水量100L)	・ごく浅水～落水状態で散布し、3～4日間は入水、落水をしない

※農薬の使用に際しては登録内容を確認し、草種に応じた除草剤を適期に散布しましょう。
詳しくは、各地区の営農経済センターへお問い合わせください。

カメムシ対策 第3回

～ほ場周辺や本田内の雑草を増やさない！～

○カメムシの成虫や幼虫の活動が活発になる前に、こまめにほ場周辺の除草を行う。

○ノビエやホタルイもカメムシの餌となるので、中・後期剤の適期散布により本田内の雑草を減らす。

○麦あとほ場は、積極的に大豆や園芸作物等の栽培を行う。

クモヘリカメムシ

アヒゲホミドリカミカ

アヒゲカミカ

初期に発生量を抑えることで後発の抑制につながる

第1世代

第2世代

第3世代

...

一斉草刈り

6月

7月

8月

9月

カメムシ類の発生消長パターン

農作業は安全優先 熱中症対策もしっかり行いましょう！
栽培履歴の記帳・とやま GAP を実践しましょう！
「守ろう 農薬ラベル 確かめよう 周囲の状況」 富山県農薬危害防止運動実施中 (4/1～9/30)